

読売新聞 きょう（9月28日）のイチ押し

社会面 大阪の3歳児虐待死 行政側の認識甘さ浮き彫り

大阪府摂津市の3歳男児が熱湯をかけられて死亡した事件で、市と児童相談所は、「第三者の暴力を止められないネグレクト（育児放棄）」と判定しながら一時保護などの対応を取らず、警察にも伝えていませんでした。

- ★ 母子の転居当初から市と児相は「養育に問題あり」と把握し、市が見守りをしていました。その後、市は母親から交際相手の暴力の相談を受け、母親の知人から「このままでは殺される」と通報も受け、ネグレクトと判定。しかし、児相は助言せず、市は見守りをするだけでした。
- ★ 大阪府では、児相が受理した案件は全て警察に伝える「全件共有」の制度がありますが、今回は児相ではなく市が受理した案件で制度の対象外でした。しかし、市と児相が情報を共有していただけに、警察に伝わっていなかったことは悔やまれます。

1面・社会面・スポ面 横綱白鵬引退 日本相撲協会に申し出

横綱・白鵬が現役引退を日本相撲協会に申し出ました。横綱在位84場所、優勝45回、通算1187勝など次々と記録を塗り替える一方、かち上げなど粗暴な取り口や横綱らしからぬ言動で品格が問題視されもしました。貪欲に勝ちにこだわり、過去の名勝負の映像を熱心に研究し、一時代を築き上げた「最強横綱」。力士を目指して15歳で来日した当時はやせっぽちで、どの部屋からも声がかからず帰国便のチケットまで用意された少年が大化けするとは誰も思ってもいなかったそうです。近く相撲協会が年寄襲名を審議され、承認されれば、親方として指導にあたることになります。白鵬が戦う姿がもう見られないのは残念ですが、次は指導者としてどんな力士を輩出するのか楽しみです。

他紙と比べて

日本画の巨匠らの偽版画が大量に流通した事件で、元画商と版画工房の代表が著作権違法の疑いで捕まりました。今年2月の本紙報道で事件が表面化してから7か月余りで、実行犯の逮捕という局面を迎えました。元画商らは10年以上にわたって偽作を続けていたといい、元画商の会社名義の口座には6億2000万円もの現金が残されていました。いったいどれだけの偽版画を作り、販売したのでしょうか。真相解明が求められます。